

## 新座市新型インフルエンザ等対策本部会議（第8回）

- 1 日時 令和2年5月8日（金）／午前9時15分から
- 2 場所 本庁舎5階全員協議会室
- 3 出席者 別紙1のとおり
- 4 概要

### ○ 今後のイベントの中止判断に係る方針について

⇒ 当日までの準備のスケジュールを逆算し、実施可否の判断をするタイムリミットを各所管で定める。

その上で、今後、適宜事業の開催が可能と判断できる状況になった場合に対策本部でその旨の宣言を行うこととし、その宣言前にタイムリミットが到達してしまう事業は原則中止とする。

### ○ 緊急経済対策について

⇒ 交付額が示された5月1日に関係本部員による書面会議にて第1弾の事業内容を決定、公表した。

⇒ 事業者向けの支援策については、5月中旬から商工会の協力も得ながら申請の受付ができるよう準備を進めている。

⇒ 事業に要する補正予算は来週にも専決処分する。なお、これに伴い庁舎建設基金(約5億円)を取り崩して財政調整基金に充当する予定。

### ○ マスク寄附の受け入れ状況について

⇒ これまでに3万3,950枚の寄附(法人、個人から9件)あり。妊婦への配布にも活用している。

また、防護服について、800着の備蓄があり、医療機関等からの依頼に応じて適宜提供していくが、今後、在庫の補充等も必要と考えている。

### ○ 水道料金の減額制度について

⇒ 他市では基本料金（一般家庭でおおむね2月1,400円）の半額支援を計画しているが、本市で同様の取組を実施した場合、約1億6千万円から1億7千万円ほど掛かる。現時点では支払猶予による支援制度で対応する方針とする。

### ○ 庁内の各種計画の策定について

⇒ 総合計画については、スケジュール的に年度内での策定が困難になりつつある。加えて、財政計画も不透明な中、状況は厳しい。また、市の各種下位計画等も関連してくるので、今後、策定の是非を判断していきたい。

### ○ 指定管理者への対応について

⇒ 事業の縮小、施設の休館等により縮減される光熱費等に係る経費は精算する予定だが、人件費が課題である。市の要請に基づき対応してもらっているため、補償は必要と考えるが、指定管理者に対しては、雇用調整助成金の活用も市として提案する必要があると考えている。

## 出席者一覧

市長	並木 傑
副市長	山崎 糧平
教育長	金子 廣志
総合政策部長	永尾 郁夫
総務部長	伊藤 佳史
財政部長	遠山 泰久
市民生活部長	齋藤 寿美子
総合福祉部長	鈴木 義弘
こども未来部長	一ノ関 知子
いきいき健康部長	竹之下 力
都市整備部長	広瀬 達夫
上下水道部長	島崎 昭生
教育総務部長	渡辺 哲也
学校教育部長	小関 直
会計管理者	今村 哲也
市議会事務局長	細沼 伊左夫
選挙管理委員会事務局長	川島 聡
監査委員事務局長	山本 実